指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　福岡県立総合プール

２　指 定 管 理 者 名：　アクシオン福岡プロジェクトチーム

３　指　定　期　間：　令和４年４月１日～令和９年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　県民の体育・スポーツの普及振興を図り、併せて健康増進と福祉の向上に資するため。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	○県の方針に沿った各種施策を展開する。 ○本県体育・スポーツ振興の中核施設としての施設の設置目的を踏まえた管理運営を行う。 ○国、県、関係団体と連携した事業展開を行う。 ○公共性を担保し、利用者の利便性を高める運営を行う。 ○高齢者や障がい者に優しい、安全安心な施設の管理運営を行う。	・年間を通じて計画的に全国・九州・県内全域の各種スポーツ大会やイベント等を実施するとともに、県民のスポーツ活動や学校体育の充実のために施設の提供を積極的に行うことにより、スポーツの普及振興を行った。 ・年間を通したプールの施設提供だけでなく、冬季にはスケートリンクを設置し、県民が多くのスポーツに触れる機会を提供し、冬季スポーツの競技力向上にも取り組んだ。 ・高齢者のために更衣室や通路に椅子を設置したり、足が不自由な方のためにアクアシューズの使用を促すなど、高齢者や障がいのある方に優しい誠実な施設の管理運営を行った。また、利用者からの要望を受け血圧計を設置するなど、施設管理者として対応できることには誠実に対応した。 ・耳マークを掲示、コミュニケーションボードを準備し、障がいのある方への対応に努めた。
②施設利用及びサービス向上	○サービスの充実・改善を図り、利用者の参加機会を拡充する。 ○新規利用者の獲得に向けた戦略的、具体的な広報計画を策定し、広報・ＰＲ活動を行う。 ○隣接施設と駐車場利用の連携を図り、大規模大会等に備える。 ○利用者の立場に応じ、常に工夫、改善を行う。 ○安全なスポーツ活動等を適切に指導できる体制を整備するとともに、災害や事故発生時に俊敏に対応できる体制を整備する。	・令和７年度利用者数95,711人 （対前年度比104.0%、令和６年度利用者数91,997人） （対令和元年度比66.7%、令和元年度利用者数143,407人） ・隣接施設である県立スポーツ科学情報センターと連携してアクシオンフェアを開催し、公式記録のタイム計測会（25ｍプールタイムアタック）やスケート体験等を実施し、スポーツの普及促進を図った。 ・着衣水泳安全講習会（ういてまて）を実施し、水難事故に備え、自分の命は自分で守る方法について講習及び実践を行った。 ・県スポーツ協会、競技団体、学校、行政機関等と連携し、令和７年度第76回末弘杯全九州高等学校選手権水球競技大会、第71回西日本ショートトラックスピードスケート選手権大会、令和７年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会冬季大会（アイスホッケー）等の大規模大会を開催し、施設の利用促進を図った。 ・県民のニーズに応じたスポーツ教室（水泳プログラム、スケートプログラム等18コース）を年間を通じて計画的に行ったほか、小学校水泳指導業務を実施することで、多くの県民へスポーツ活動の場を提供し教室参加者の増加を図ることができた。（令和７年度2,403人、令和６年度783人） ・館内でのポスターの掲示に加え、Instagramを活用した広報活動を積極的に行うことで、新たな利用者層の拡充や施設の認知度の向上を図った。 ・マナー研修等の職員研修を行い、公共の体育・スポーツ施設の職員として利用者に対して適切な対応ができるよう資質向上を図った。 ・AEDを用いた心肺蘇生法等救急法や水難訓練に関する講習を職員に受講させ、安全に対する資質向上を図った。また、年間２回の避難・誘導訓練を実施し、災害や事故等発生時の適切な体制整備に努めた。 ・定期的な施設設備の安全点検や法定点検の確実な実施により、不備箇所の改善等を行うことで適切な安全管理に努めている。 ・損害保険に加入することにより、不測の事態に対応できる体制をとった。

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	○県民のニーズに応える各種スポーツ教室の開催や九州、全国規模の大会を積極的に受け入れることにより、利用料金収入の増加を図る。 ○利用者への良質なサービス提供を維持しながら、節電、節水等、光熱水費の削減に努める。 ○大会等行事に応じて、柔軟な職員配置を計画する。	・利用料金収入：目標額37,000千円　実績額20,850千円（対前年度比106.2%、令和６年度19,629千円）（対令和元年度比91.5%、同元年度22,790千円） ・事業収入：目標額19,500千円　実績額21,507千円（対前年度比129.1%、令和６年度16,660千円）（対令和元年度比136.9%、同元年度15,707千円） ・指定管理料：160,389千円（対前年度比103.9%、令和６年度154,381千円） ・効率的な管理運営により節電を行い使用量は減となったが、原油価格高騰等の影響もあり、電気使用料金は前年と比べ増加した。 （電気使用料　対前年度比103.7%、対令和元年度比169.2%） （水道使用料　対前年度比107.0%、対令和元年度比93.1%） ・事前に大会主催者等と打ち合わせを行い、必要に応じて職員のシフトを組み直すなど、柔軟な職員配置を行った。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	○体育・スポーツの振興と利用者のニーズに応える観点から、必要なスタッフの雇用配置を行う。	・幼児・児童水泳教室開催時や利用者が特に多い時期にはスタッフを増員し、プールの監視体制の強化を図った。
⑤施設管理上の個別事項	○個人情報保護法、福岡県個人情報保護条例に照らし、適切に情報管理を行う。 ○県のスポーツ施策や競技団体等のニーズを十分に理解した上で、適切かつ効果的な利用の調整を行う。	・個人情報保護マニュアルを定め、適切な情報管理に努めた。 ・「国・県のスポーツ施策反映と本県競技力向上」、「県民スポーツの活性化に向けた生涯スポーツ振興」、「子どもたちの体力向上と健全育成」、「県民の生活安全支援としての水難救助訓練実施」の４つの観点をもとに特別優先予約枠を設け、これまでの調整ノウハウをいかし、利用の調整を行った。

②点検結果

□ A＋（提案内容を上回った） ○ A（提案内容をやや上回った） □ B（概ね提案内容どおり） □ C（提案内容をやや下回った） □ D（提案内容を下回った）	【総合コメント】 ・福岡市とアクシオンスクール事業（小学校水泳指導業務）に係る委託契約を締結したこと等により、事業収入を大幅に増加させることができた。 ・25mプール及びスケート場の個人利用者数の増に伴い、利用料金収入も増加した。 ・隣接施設（県立スポーツ科学情報センター）と一体管理である利点を活かし、両施設を有効に活用したイベントを実施するなど、施設の利用促進を図っている。また、様々な競技の体験教室を実施することで、利用者にスポーツを楽しむ機会を提供するとともに、スポーツの振興に寄与している。 ・利用者の利便性を高める環境の改善に努め、利用者ニーズに対応した施設提供･運営を行っている。 ・施設内に意見箱を設置し、利用者のニーズに応じた管理運営を目指して、常にサービス向上に努めている。